

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャンパスライフ入門（Orientation to Campus Life） 101001-14000					担当教員	石川英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・選択区分	必修	単位数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要
長岡大学での4年間の大学生活を有意義に送るために必要な知識、大学から地域からの期待、社会生活のルールとマナー等を講義形式で学び、長岡大生としての自覚と誇りを持ち、地域で活躍する人材となって育って行くための心構えを学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／地域社会に貢献する姿勢を養う授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
外部講師による授業もあり、実社会に即した知識を身につけることができる（外部講師等の事情により講義日、内容が変わる場合がある）。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課し、レポートを提出することを義務づける。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「ゼミナールI（前）」、「ゼミナールI（後）」「キャリア開発I」、「日本事情」（留学生）
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i) 長岡大生としての自覚と誇りを持ちそれを他者に伝えることができる。 (ii) 地域で活躍する人材となって育って行くために必要とされる知力・能力・人間力を習得し、その能力向上について他者に伝えることができる。 (iii) 大学で学ぶ意義、学び方、社会生活のルールとマナーを理解し、説明できる。
⑥ テキスト（教科書）
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
佐藤智明、矢島彰、安保勝也（2014）『3訂大学学びのことはじめ』ナカニシヤ出版 その他、隨時授業中に紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				70%		30%		100%

(i) 長岡大生としての自覚と誇り				20%		10%		30%
(ii) 地域で活躍する人材の知力等				20%		10%		30%
(iii) 大学で学ぶ意義等の理解				30%		10%		40%
フィードバックの方法	毎回のレポートの評価をフィードバックする。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
意義ある大学生活を送ることができるよう、その土台作りにつながる授業を目指す。学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進める。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション、何のために何を大学で学ぶのか	筆記用具	配布資料の復習、大学生活での目標の考察	60 分
2	講義の受け方・ノートの取り方	筆記用具	配布資料の復習、授業ノートのとり方の見直し	60 分
3	学長講話	筆記用具	配布資料の復習、社会人基礎力についての復習	60 分
4	資格取得の意義	筆記用具	配布資料の復習、資格取得及びその学習計画の検討	60 分
5	ハラスメント防止	筆記用具	配布資料の復習、ハラスメント回避についての考察	60 分
6	課外活動の大切さ	筆記用具	配布資料の復習、課外活動の参加計画の検討	60 分
7	地域活性化プログラムの紹介	筆記用具	配布資料の復習、昨年度の地域活性化プログラム事例の復習	60 分
8	社会人としてのルールとマナー1（交通ルール）	筆記用具	配布資料の復習、自転車・歩行者の安全に関する復習	60 分
9	インターネットを使った情報の調べ方	筆記用具	配布資料の復習、インターネット情報収集法の復習	60 分
10	社会人としてのルールとマナー2（日常生活の中の契約）	筆記用具	配布資料の復習、自信の周りの契約に関する考察・振り返り	60 分
11	インターンシップとは、キャリア開発について	筆記用具	配布資料の復習、夏休み等のインターンシップの検討	60 分

12	社会人としてのルールとマナ ー 3 (心と体の健康)	筆記用具	配布資料の復習、薬害問題・HIVについての復習	60 分
13	レポートの書き方	筆記用具	配布資料の復習、レポートの書き方の復習	60 分
14	社会人としてのルールとマナ ー 4 (くらしと税)	筆記用具	配布資料の復習、税制復習、自分のキャッシュフローの検討	60 分
15	OB・OG が語る大学生活	筆記用具	配布資料の復習、今後の大学生活の計画検討	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

この授業では、企業経営経験者、特定社会保険労務士、消費生活センター担当者、会計士、保健所担当官等の実務家を招へいした授業を実施する。

実務経験と授業科目との関連性

各実務家による講義を通じて、現実社会における学生生活の課題を学び。地域社会のなかでの有意義な大学生活、さらには適切なキャリア形成の土台を築くことを目指している。